株式会社日本生物製剤

会社説明

母親の胎内で、胎児を守り、育むプラセンタ（胎盤）。
進化の過程において、哺乳類にのみ授けられたこの組織は、
生命の誕生や維持に不可欠な生理活性物質を多様に産生し、
新しい細胞をつくる遺伝子情報のシグナルを司るため、
生命情報の「ライブラリー」と呼ばれます。

プラセンタ＝生命に与えられた大いなる恵み。
その秘めたる可能性は、紀元前の昔から注目され、また洋の東西を問わず、
様々な疾病の治療や健康、若さの維持のために利用されてきました。
そして今、バイオ・ゲノムテクノロジーの発展とともに
「再生医学」といわれる最先端の医療分野でも―。

JBP（株式会社 日本生物製剤）は、最新の科学技術を駆使し、
プラセンタが持つ成分・メカニズムのさらなる解明と、
医療・健康・美容分野への有効活用を使命とする
プラセンタ製剤のワールド・リーディング・カンパニーです。

会社概要

本社所在地
日本

事業内容
ヒト胎盤製剤「ラエンネック」製造・販売、プラセンタエキス含有医療用医薬品・医薬部外品・健康補助食品・化粧品及びその原体の製造・販売、ヒト胎盤における薬理効果の研究及び新規成分の同定、医療機器の販売

代表取締役
林 泓錫

設立年
1970年10月15日

資本金
80,000千円

従業員数
101 - 500人

URL
http://jbp.placenta.co.jp/

オフィス情報

メインオフィス
〒1510063
東京都 渋谷区 富ケ谷 1-44-4